

まじめに働く人が報われる日本に

参議院議員比例代表(全国区)

片山 さつき (55)



「生活保護法見直し」セットの生活困窮者自立支援法も、自民党PTとして提言し、現場の実務も後押ししています。

「防災・国土強靱化」

日本人の幸福を脅かす大災害や、地球規模の気候変動への対応として、国土強靱化の立法チームにも加わり、首都直下型地震対策法、南海トラフ巨大地震対策法策定に携わり、地域の自主防災、商店街の防災・備前拠点としての機能強化等を促進しています。

尖閣諸島、日本海呼称問題、従軍慰安婦問題等、国際社会で反日プロパガンダが行き過ぎている現状に早急に対応すべく、党の国際情報検討委員会で、ジャパンハウスを含む対外広報戦略チームの大幅強化を行うとともに、外国特派員協会でのアピール等も行っています。

迫る国民医療費膨張の下では、未病化が喫緊の課題です。3月末に「IOHH構想」を発表し、個人の血圧、血糖値等健康データをウェアラブル端末等で定期把握、10データ蓄積し、成人病や認知症のリスクを明確化し、蓄積データを基づく適切なアドバイスを随時することで、健康維持、生活習慣病や致死疾患防止と早期発見を実現するインターネットヘルスケアのインフラを構築することに着手しました。



東日本大震災関連法案の提案者として答弁

「議員立法」を積極的に提案

豊富な政治・行政経験活かす

大蔵官邸としての23年間の財政・金融行政経験や、政界での足掛け10年の経済産業、総務、環境、国土強靱化、地方創生、外交防衛等の経験、自動車、エネルギー、不動産、土業、商店街・生活衛生等の中小・小規模企業、個人事業主、環境リサイクル等幅広い団体の推薦議員として活動させていたという事等について、語りまわす。

「まじめに働く普通のサラリーマンや自営業の方が報われ、正直者が馬鹿をみない日本にする」と、「健康寿命を伸ばすこと」が、私のライフワークです。本来勤めるのに生活保護に陥る人達を、将来の納税者に変えていく。

二重ローン対策を含め、東日本大震災被災事業者再生に取り組み、3本の法案を提出・成立、70回超被災地入りし、600社以上の再生を見てきました。これらの事例からの知見を、全国の地方創生に不可欠な、地銀・信金主導の本格的な中小企業の実業再生に繋げてまいります。

「日本の誇りを取り戻す」日本国憲法を日本人の命と尊厳を守る、時代と現実に対応したものとするよう、自民党草案の起草委員として、特に緊急事態条項に注力しました。現在は参院外交防衛委員長・党安保法制本部幹事として待ったなしの課題である安保法制に取り組みしていきます。

可能エネルギー推進策に、資源・エネルギー戦略調査会副会長として取り組んでいます。

「IOHH構想」(Internet of human health)

日本の最大の危機は、10年後に730万人とも予測される認知症とその予備軍の成人病。40兆円に

トップ当選し、総務大臣政務官、環境部会長を歴任。現在は参院外交防衛委員長、党地方創生実行統合本部常任幹事、党国際情報検討委員長代行、党広報本部副本部長、党資源・エネルギー戦略調査会副会長等を務める。

私の政策



ベトナムのハイ副首相と自動車産業の活動条件等を交渉

「日本の誇りを取り戻す」日本国憲法を日本人の命と尊厳を守る、時代と現実に対応したものとするよう、自民党草案の起草委員として、特に緊急事態条項に注力しました。現在は参院外交防衛委員長・党安保法制本部幹事として待ったなしの課題である安保法制に取り組みしていきます。



党地方創生実行統合本部常任幹事として安倍総理に提言

片山 さつき (かたやま・さつき) 昭和34年埼玉県生まれ。57年東京大学法学部卒業、大蔵省入省。広島国税局税務署長、G7サミット代表団員、主計局主計官など女性初のポストを歴任。平成17年来院選静岡7区で初当選。経済産業大臣政務官を経て、22年参議院全国比例区にて

片山 さつき事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参院議員会館420号室 TEL:03-6550-0420 FAX:03-6551-0420 E-mail:satsuki.katayama01@gmail.com

- ホームページ <http://www.satsuki-katayama.com/>
- ブログ <http://satsuki-katayama.livedoor.biz/>
- ツイッター https://twitter.com/katayama_s
- フェイスブック <https://www.facebook.com/satsukikatayama.fanpage>
- ユーチューブ <https://www.youtube.com/channel/UCcLDPsTg7cMSwbqK9KSgZCw>

した行動の規律性と団結力など、日本文化はある意味世界が行き着く先進性に富んでいます。この町にも必ず世界に一つしかないユニークな何かがあります。ロボットや人工知能の進化の加速化で、人間を超えが射程に入ってきましたが、それだけに、感性やその日の素材で料理を創り出すなどの強極む変力、手作業のぬくもり等の価値が再認識されるようになりそうです。それこそが次世代に伝え残すべきIQ心の知能指数の伝統ではないでしょうか。